

インターネットツールの最新情報

WWWブラウザ Hot Line vol.11

THIS MONTH'S TOP NEWS

マッキントッシュ版 インターネットエクスプローラ4.5 登場!

今までウィンドウズ版に比べて遅れがちだったマッキントッシュ版のIEだが、マックユーザーを強く意識した4.5の登場でウィンドウズ版を追い越すところまで来た。多様なOSを平等にサポートするネットスケープコミュニケーターに比べ、特定のOSとの連携機能がIEの強みと言えるだろう。

ウィンドウズより一足先に バージョンアップ

ウィンドウズ用の正式版はまだ4.01 サービスパック1のままのインターネットエクスプローラだが、マイクロソフトはマッキントッシュ用の最新バージョンとして4.5正式版を公開した。この公開はMacWorld Expoの開催に合わせてもので、同時にマックユーザー向けのサイト「MacTopia」も公開された。1997年のアップルとの提携から始まったマイクロソフトによるマッキントッシュ用ソフトウェアへの強力なサポートの成果と言える製品で、最新のMac OS 8.5のルック&フィールに合わせた外観と操作性を備えている。なお、IE 4.5日本語版の公開は2月になる予定。

URL: MacTopia
<http://www.microsoft.com/mac/>

URL: IE 4.5 4ヶ国語版
<http://www.microsoft.com/mac/ie/>

マック版だけの便利な機能

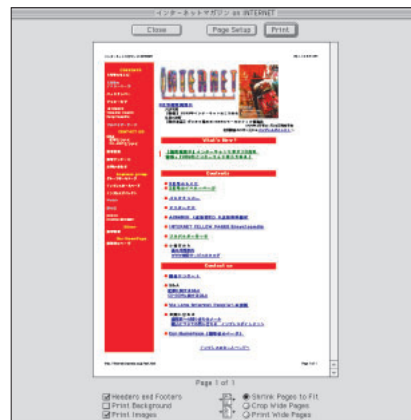
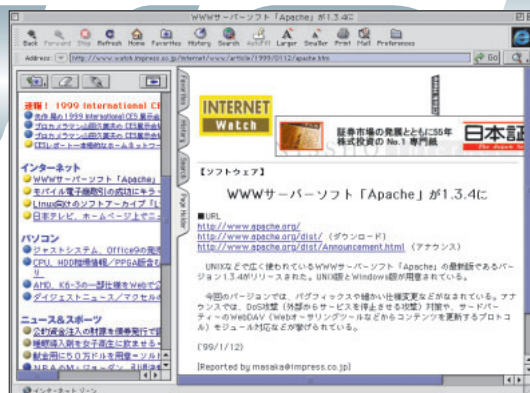
マッキントッシュ版IE 4.5の特徴は、MacOSとの親和性とウィンドウズ版にはない機能を数多く取り込んだことにある。

ドラッグ&ドロップによる インストール

ダウンロードしたファイルを展開するとアイコンが1つ現れる。このアイコンを開いて、その中の「Microsoft Internet 4.5」というフォルダーを好きな場所にコピーするだけでインストールが完了する。

Page Holder

エクスプローラバーに「Page Holder」というタブが追加された。ボタンを押すと表示されているページをエクスプローラバー内に丸ごと入れてしまうものだ。ニュースサイトのトップページを入れておけば、Page Holder内のリンクをクリックするだけで記事を次々に読んでいくことができる(図A)。



印刷機能の強化

ウィンドウズ版にもない「Page Preview」がメニューに追加され、印刷方法を細かく指定できるようになった(図B)。背景色や画像をオフにして、文書を読みやすいように印刷することもできる。

フォームへの入力支援

ユーザーのキー入力を支援する機能が強化された。「Form AutoComplete」は、設定画面で好きな語句を登録しておく、フォームに文字を入力する際にURL欄への入力のように語句を補完できる機能だ。「Form AutoFill」は、設定画面で名前や住所、電話番号などを登録しておく、ユーザー登録用のフォームを一度のボタンクリックだけで埋めることのできる機能だ。

Sherlock との連携

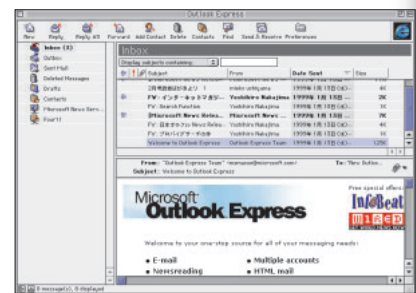
MacOS 8.5の検索機能であるSherlockと連携する機能が付いた。「Go」ボタンの右にあるボタンを押して「Find Similar

Sites」を選ぶと、Sherlock が呼び出され、現在のページと関連するページが検索される(図C)。一見するとコミュニケーター4.5の「関連サイト」ボタンのようにだが、実際にはHTML ファイル内のMETA タグで「NAME="DESCRIPTION"」か「NAME="KEYWORDS"」が指定されている場合の「CONTENT=」の内容を検索のキーワードとして使っている。こうしたMETA タグがない場合は、文書中の適当な部分がキーワードにされるため、検索の精度はかなり落ちる。

アウトLOOKエクスプレスも4.5に

IE とともにバージョンが4.5となったアウトLOOKエクスプレス(図D)でもMacOS と協調する機能が強化された。添付ファイルのエンコーディング方式にAppleDouble が選べるようになったり、メッセージルール(振り分け機能)からアップルスクリプトを呼び出せるようになっ

たりするなど、かなり「マックのソフトらしく」なっている。



★★★コンゲット TOPICS!★★★

マッキントッシュ版ネットスケープコミュニケーター4.5 公開

ネットスケープは、マッキントッシュ(PowerPC)用のコミュニケーター4.5日本語正式版を公開した。先に公開されたウィンドウズ版と同じく、日本語版ではカレンダーを含むプロフェッショナル版は用意されていない。4.5の主な特徴は、これまで

何度もお伝えしたように、関連サイトボタンやインターネットキーワードからなるスマートブラウジング機能だ。これによりコミュニケーター4.5は主要なプラットフォームのサポートを終え、次世代のバージョン5.0の登場を待つだけとなった。

URL:

<http://home.netscape.com/ja/download/>



IEとナビゲーターにフレームを使ったセキュリティホール

マイクロソフトは、IEのフレーム機能にセキュリティホールがあることを認め、修正プログラムを公開した。悪意のあるサイトが他のページの中に自分のページをフレームとして埋め込み、ユーザーに信用できるサイトだと思わせてクレジットカード番号

などの情報を送信させることができるというもの。すべてのプラットフォームのIE 3.0と4.0以上のバージョンが影響を受けるが、公開された修正プログラムはウィンドウズ版のみで、マッキントッシュ版とUNIX版はまだ公開されていない。

また、同様のセキュリティホールがネットスケープナビゲーター2.0以上のすべてのバージョンにおいても存在することが明らかになった。修正プログラムは公開されておらず、ネットスケープは将来のバージョンのナビゲーターで修正するとしている。

URL:マイクロソフト

<http://www.microsoft.com/japan/security/>

URL:ネットスケープ

<http://home.netscape.com/products/security/resources/notes.html>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp